

表1 環境影響評価の項目の選定

環境要素の区分		影響要因の区分		工事の実施										土地又は工作物の存在及び供用								
				代替施設本体			*埋立土砂		*作業ヤード			*河川	*代替施設付帯		代替施設本体	*埋立土砂発生区域	*付け替え済み河川	*作業ヤード	*進入灯・燃料棧橋	航空機の運航	飛行場施設の供用	
				護岸工事	埋立工事	飛行場施設設置	掘削工事	供給用仮設道路設置工事	陸上		海上	付け替え工事	進入灯設置工事	燃料棧橋設置工事								
									護岸工事	埋立工事	浚渫工事											工事
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	窒素酸化物																			
			粉じん等																			
			浮遊粒子状物質																			
			硫黄酸化物																			
			騒音																			
			振動																			
			低周波音																			
	水環境	水質	水の汚れ																			
			土砂による水の濁り(赤土等含む)																			
		水象																				
土壌に係る環境	地形及び地質	重要な地形及び地質																				
その他の環境	塩害																					
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地																				
	植物	重要な種及び群落																				
	生態系	地域を特徴づける生態系																				
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観																				
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場																				
	歴史的・文化的環境																					
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	建設工事に伴う副産物																				
		廃棄物																				

\*: 方法書の表-4.2.1.1で独立した影響要因として立てられていないもの

□: 方法書にて選定済みの評価項目

○: 方法書にて未選定の必要評価項目

△: 独立した影響要因として立てられておらず評価項目とされているか不明なもの